

旧館山中学校（旧第二中学校）の跡地活用に係る事業説明会 記録

日 時：令和8年8月26日（水） 16:00～17:00

場 所：コミュニティセンター展示室

参加人数：44名

説明会流れ

- ・ 学校法人創志学園 大塚理事長挨拶
- ・ 館山市 森市長挨拶
- ・ 創志学園グループについて、説明
- ・ 提案内容について、配布資料のとおり説明
- ・ 質疑応答
- ・ 大塚理事長挨拶ののち終了

「学校法人 創志学園」に対する主な質疑応答

○創志学園グループによる合宿の利用がない際は、校舎の使われ方はどのようなになるか。

⇒常駐の職員も配置するが、地域の方々が利用したい際には、開放したいと考えている。

○津波一時避難ビルに指定されているが、有事の際には、合宿の利用者がいても、地域に開放するのか。

⇒有事の際には、合宿等で子どもたちが利用していても、地域の方々へ全面的に開放、受け入れし、共同利用したいと考えている。

地域の方々としっかりと普段から災害時の対応等について、打合せを重ねていき、地域の皆様が円滑に避難できるように考えていきたい。

○地域住民と交流する方法はどのように考えているか。

⇒定期的に開催する協議会を設定したい。その協議会は、「創志学園グループや子どもたちから地域住民の皆様への相談する場や地域住民のご要望等をお伺いする場になればよい」と考えている。「お互いが力をあわせて、何か新しい取組をしたい」と考えている。

○校舎棟（4階建）の改修内容はどのように考えているか。

⇒3階と4階を合宿所として改修する。1Fはシャワースペースや食事スペース等に改修する予定としている。

○校舎棟以外の宿泊先は考えているか。

⇒利用人数によっては、旧館山中学校だけで対応できない場合も想定されるので、市内の宿

泊施設の使用も含めて検討したいと考えている。

○グラウンドは整備するのか。

⇒市が継続利用する社会体育施設や駐車場との配置調整を行っている段階であり、敷地内のグラウンドをどの程度整備するかは未定であるが、公式試合や本格的な練習に対応する施設への改修予定はなく、本格的な練習には館山市内の既存サッカー場や野球場などの外部施設を活用する方針である。

○グラウンドはどのように活用するのか。

⇒校内のグラウンドは、軽運動やレクリエーションのスペース等として活用したいと考えている。

○学びの多様化学校へのサポート方法はどのように行うのか。

⇒学びの多様化学校に従事される関係者をはじめとする皆様と対話、相談しながら、考えていきたい。想定としては、教職員の皆様への研修、保護者に対する教育講演会など、スーパーバイザーといった専門家の意見を聞く場の設定等はできると考えている。ニーズを把握したい。

○合宿利用の際には、校舎内に整備した食堂で調理するのか、お弁当等の配達を依頼するのかどちらか。

⇒現時点では、食堂の整備は想定しておらず、地域の事業者様にお弁当の提供をしていただきたいと考えている。

○農業や地場産品の消費等について、教育上の観点で考えていることはあるか。

⇒農業に関われる教育プログラムを中学校、高等学校段階からしっかりと、実践していきたいという思いがある。

配布資料にもマルシェという形で記載したが、生産、加工、流通といった活動は、経営という観点においても非常に重要と考えている。

そういった取組も地域の皆様と一つのプロジェクトとして一緒に実施したいと考えている。また、各学校のキャンパスで行われる学園祭等において、館山市の紹介という形でブースを設けたいと考えているので、ぜひ、お声がけさせていただきたい。

○市内の小中学校のこどもたちと交流の機会はあるのか。

⇒探求学習というプログラムを想定しているが、市内の小中学校のこどもたちと交流できる機会はある。例えば、天文合宿等の交流においては、「出会い、お互いを理解する」ということを大切にしたい。

「館山市」に対する主な質疑応答

○校舎の校門前の前面道路は拡幅する予定はあるか。

⇒現時点では、創志学園による利活用が開始しても、中学校の際よりも交通量は大幅に増加することは想定していないため、拡幅する予定はない。

【学校法人 創志学園 大塚理事長から挨拶】

館山市の皆様と引き続きしっかりと協議を進め、定期的に地域の皆様の意見も把握させていただきながら、旧館山中学校の跡地活用を通して、館山市にとって、地域の皆様にとって、よりよい形で地域の活性化につながるよう、教育上の観点で実践できるように努力して参りたいと考えています。

引き続きどうぞご協力のほど、よろしくお願いいたします。

以上